

# 経営者「環境力」大賞を受賞して①

## 新たな農業感 ～不便性の追求～

森 雅美 (もり まさみ/森ファーム代表取締役)

まず、このような賞を頂けることに心より感謝申し上げます。私共は、産直農家です。経営理念は「皆さんのふる里になりたい!」です。直接消費者の皆さんと関わる中「食の安心安全とは?」と考えてまいりました。見出された答えは、農業とは「人の命を育む生命産業である」そして「永久の需要に対し、永久の供給システムの確立である」さらに「経営の安定」が、本来の消費者の求める「食の安心安全である」との答えに達しました。

なんて、偉そうな事を今は口にしておりますが、実は、農業で自立できていない現状を、どのようにしたら自立できるのか?と試行錯誤をしながらもがいて今までやって参りました。その中着目したのが、今までの農業の問題点です。

一つに、大量生産大量販売・生産性を高めるなどと言った考え、まさしく工業的發展を遂げていること、例えばですが、レタスやキャベツをボルトやナットと同じように生産してしまったことです。そこで意識改革の元、有機JASや県特別栽培農産物に取り組み、同時に農業者としての社会的責任としてパレスホテル様と食の循環に取り組みました。

二つに、高齢化・後継者不足の問題です。そもそも食は永久の需要がありますが、それに対し日本農業は永久の供給システムを失いつつあります。そこで、若い農業者育成に取り組みました。現在、平均年齢が33才、さらにこの春新卒で2名入社します。気がつく商品と人材に特化し、個性が生まれました。また、農業は3kの代表産業です。そこで、地域・施設・仕事環境の美化運動を展開した結

果、児童通学路が変更になったり、女性客に支持を頂いたり、スタッフが自信をもって農業に取り組めるようになりました。さらに、いわゆる6次産業的取り組みにより、価格の安定・高価格商品開発販売などを確立し、施設・顧客に特化し個性的経営をさせていただくことができるようになったと思われます。「環境力」の自己評価の位置づけは、図1(マインドマップ)で示しておりますので、ご参照ください。

おかげさまで自然の中、素晴らしいお客様と元気だけがとりえのスタッフと毎日楽しく、経営をさせていただいております。この先、様々な難題があるかとは思いますが、スタイルに拘ることなく、アメーバのごとく柔軟に取り組んでまいります。そして、便利を手にしてしまった社会、一方で失われてしまった人間の本能や感性を少しでも取り戻せるように、「不便性の追求」をテーマに新たな農業感を展開してみたいと考えております。

図1 (マインドマップ)

